資料 2

【横浜市都市美対策審議会 景観審査部会】

景観形成の考え方

みなとみらい21 中央地区 58街区 開発事業計画
（仮称）横濱ゲートタワープロジェクト

［代表企業］
鹿島建設株式会社

［構成企業］
住友生命保険相互会社
三井住友海上火災保険株式会社

2018年9月14日

【指摘事項1】
高層棟ファサードの分節化を検討すること

南側ファサード

立面図

断面図

平面図

ガラスとアルミパネルで凹凸をつけて陰影を表現することで、季節や時間の変化とともに空の映り込みが変化していくなど、豊かな表情を創出します。

「横浜駅側のゲート」に相応しい、端正かつ風格ある構え

北側ファサード

立面図

断面図

平面図

高層階コア部分にも、執務スペースである「サテライトワークスペース」や「リフレッシュコーナー」を配置し、コアで閉じた外観にするのではなく、人々のアクティビティを表出させて街に開く外観を目指します。

© KAJIMA CORPORATION 2018

【指摘事項２】
キング軸の位置づけ、コモンスペースの考え方について検討すること

みなとみらい地区のゲート、キング軸の起点としての位置づけ

1階平面図　S=1/600

【指摘事項2】
キング軸の位置づけ、コモンスペースの考え方について検討すること

キング軸と呼応する低層部（テラスモール）を創る

平面図　S=1/1000

低層棟の中心に歩行者の回遊性の起点となる光庭を配置

2階光庭より：光庭によりキング軸の人の流れや自然環境を建物に引き込む

キング軸にはベンチ等のファニチャー等を設置し
店舗と一体的に利用できる溜留空間を形成し、にぎわいを創出

1階光庭より：内部のアクティビティが表出するガラスを主とした透明感ある店舗群を配置し
キング軸沿いに立体的なにぎわいを創出

© KAJIMA CORPORATION 2018

【指摘事項3】
低層棟や高層棟低層部のファサードについて検討すること

人の流れを自然に受け入れる「開放系の環境づくり」

横浜駅側からのアプローチ：エントランスプラザ　シンボルとなる球体を際立たせるかたち

新高島駅側からのアプローチ：ヒストリカルプラザ　街に開き人を受けとめるかたち

南側全景：キング軸と融合し高層棟と呼応するかたち

※今後、高島二丁目歩道橋接続協議により、デザイン、仕上、仕様は変更となる可能性があります。

© KAJIMA CORPORATION 2018

【指摘事項4】
とちのき通り沿いのにぎわい創出について検討すること

内部機能を街に開き、外構に滞留スペースを整備する

1階平面図　S=1/800

性格分けされたギャラリーにより、街の情報発信機能を強化し、にぎわい創出に寄与

基準階平面図　S=1/800

北面にリフレッシュコーナー・サテライトワークスペース・EVホールを配するようコアプランを整理

断面図

ギャラリーと対になるよう、植栽と含めて休息もできるスペースを整備

北側立面図　S=1/400

© KAJIMA CORPORATION 2018

【指摘事項5】
地区施設とみなとみらい本町小学校との接続について検討すること

高低差を解消し豊かな歩行者空間を創出する

国道一号側:地区施設、小学校と同じ地盤までスロープを設置し高低差を解消する

新高島駅側:地区施設同じ地盤まで小学校側に盛土し高低差を解消する

1階平面図　S=1/500

※今後、みなとみらい本町小学校との協議により、デザイン、仕上、仕様は変更となる可能性があります。

© KAJIMA CORPORATION 2018